

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-10589(P2009-10589A)

【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2007-168878(P2007-168878)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 V

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の移動電話端末に格納されている電話帳データ内のメールアドレスに対応する移動電話端末に、第 2 の移動電話端末の電話番号とメールアドレスの両方又は一方を含むメッセージを送信する通信装置であって、

前記通信装置は、

表示部を備え、

前記第 1 の移動電話端末の電話帳データ内に格納されているメールアドレスを該第 1 の移動電話端末から取り込んで該通信装置に記憶するとともに、このメールアドレスを前記第 2 の移動電話端末に転送して該第 2 の移動電話端末に記憶させ、

前記メッセージを送信する際の送信元メールアドレスを入力する入力画面を前記表示部に表示し、前記入力画面に入力された送信元メールアドレスを該通信装置に記憶し、

前記第 1 の移動電話端末に格納されている前記電話帳データ内のメールアドレスから前記メッセージの送信先メールアドレスを選択するための選択画面を前記表示部に表示し、前記選択画面から選択された送信先メールアドレスを該通信装置に記憶し、

前記メッセージを前記送信元メールアドレスを送信元として、前記送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信し、

前記第 1 の移動電話端末から取り込んで該通信装置に記憶していた前記電話帳内のメールアドレスを消去する通信装置。

【請求項 2】

前記メッセージの本文として使用する複数の定型文を記憶しており、前記メッセージは、選択された定型文と前記第 2 の移動電話端末の電話番号とメールアドレスの少なくとも一方を含むように作成される請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 3】

所定期間内に前記メッセージを送信した回数を記憶する請求項 1 又は 2 記載の通信装置。

【請求項 4】

第 1 の移動電話端末に格納されている電話帳データ内のメールアドレスに対応する移動

電話端末に、第 2 の移動電話端末の電話番号とメールアドレスの両方又は一方を含むメッセージを送信する通信システムであって、

前記第 1 の移動電話端末及び前記第 2 の移動電話端末と接続される通信装置と、

前記通信装置と接続されるメールサーバとを備え、

前記通信装置は、

表示部を備え、

前記第 1 の移動電話端末の電話帳内に格納されているメールアドレスを該第 1 の移動電話端末から取り込んで記憶するとともに、このメールアドレスを前記第 2 の移動電話端末に転送して該第 2 の移動電話端末に記憶させ、

前記メッセージを送信する際の送信元メールアドレスを入力する入力画面を前記表示部に表示し、前記入力画面に入力された送信元メールアドレスを該通信装置に記憶し、

前記第 1 の移動電話端末に格納されている前記電話帳データ内のメールアドレスから前記メッセージの送信先メールアドレスを選択する選択画面を前記表示部に表示し、前記選択画面から選択された送信先メールアドレスを該通信装置に記憶し、

前記送信元メールアドレスを送信元として、前記メッセージを前記メールサーバを介して、前記送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信し、

前記第 1 の移動電話端末から取り込んで該通信装置に記憶した前記電話帳内のメールアドレスを消去する通信システム。

【請求項 5】

前記メッセージの本文として使用する複数の定型文を記憶しており、前記メッセージは、選択された定型文と前記第 2 の移動電話端末の電話番号とメールアドレスの少なくとも一方を含むように作成される請求項 4 記載の通信システム。

【請求項 6】

所定期間内に前記メッセージを送信した回数を記憶する請求項 4 又は 5 記載の通信装置。

【請求項 7】

自身の電話番号及びメールアドレスの両方又は一方を含むメッセージを、他の移動電話端末に格納されている電話帳データ内のメールアドレスに対応する移動電話端末に対して送信する移動電話端末であって、

前記他の移動電話端末から電話帳データ内のメールアドレスを取り込んで記憶し、

前記メッセージの送信元メールアドレスを入力する入力画面を表示部に表示し、前記表示部の表示内容に基づいて入力された送信元メールアドレスを記憶し、

前記メッセージの送信先のメールアドレスを前記電話帳データに含まれるメールアドレスから選択する選択画面を前記表示部に表示し、前記表示部の表示内容に基づいて選択された送信先メールアドレスを記憶し、選択された前記送信先メールアドレスを送信先として、自身の電話番号及びメールアドレスの少なくとも一方を含むメッセージを作成し、

前記メッセージを送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信する移動電話端末。

【請求項 8】

前記メッセージの本文として使用する複数の定型文を記憶しており、前記メッセージは、選択された定型文と前記自身の電話番号とメールアドレスの少なくとも一方を含むように作成される請求項 7 記載の移動電話端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置、通信システムおよび移動電話端末

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明の通信装置は、表示部を備え、第 1 の移動電話端末から格納されている電話帳データ内のメールアドレスを記憶するとともに、このメールアドレスを第 2 の移動電話端末に転送して記憶させる。そして、送信元メールアドレスを入力する入力画面を表示部に表示し、入力された送信元メールアドレスを記憶し、第 1 の移動電話端末に格納されている前記電話帳データ内のメールアドレスからメッセージの送信先メールアドレスを選択する選択画面を表示し、選択された送信先メールアドレスを記憶し、前記メッセージを前記送信元メールアドレスを送信元として、前記送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信して第 1 の移動電話端末から前記電話帳内のメールアドレスを消去するというものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

このような構成により、第 2 の移動電話端末へのメールアドレスのコピーとともに、第 1 の移動電話端末に格納されている電話帳データ内のメールアドレスに対応する移動電話端末へメッセージを送信することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、本発明の通信システムは、第 1 の移動電話端末及び第 2 の移動電話端末と接続される通信装置と、前記通信装置と接続されるメールサーバとを備えており、前記通信装置は、表示部を備え、前記第 1 の移動電話端末から格納されている電話帳内のメールアドレスを記憶するとともに、このメールアドレスを前記第 2 移動電話端末に転送して記憶させ、前記メッセージを送信する際の送信元メールアドレスを入力する入力画面を表示部に表示し、この表示部より入力された送信元メールアドレスを記憶し、前記第 1 の移動電話端末に格納されている前記電話帳データ内のメールアドレスから前記メッセージの送信先メールアドレスを選択する選択画面を表示し、この表示部より選択された送信先メールアドレスを記憶し、前記送信元メールアドレスを送信元として、前記メッセージを前記メールサーバを介して、前記送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信し、前記第 1 の移動電話端末から前記電話帳内のメールアドレスを消去するようにしたものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

このような構成により、第 2 の移動電話端末へのメールアドレスのコピーとともに、第 1 の移動電話端末に格納されている電話帳データ内のメールアドレスに対応する移動電話端末へメッセージを送信することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

さらに、本発明の移動電話端末は、他の移動電話端末から電話帳データ内のメールアドレスを取り込んで記憶し、前記表示部の表示内容に基づいて入力された送信元メールアドレスを記憶し、前記メッセージの送信元メールアドレス入力する入力画面を表示部に表示し、前記メッセージの送信先のメールアドレスを前記電話帳データに含まれるメールアドレスから選択する選択画面を前記表示部に表示し、前記表示部の表示内容に基づいて選択された送信先メールアドレスを記憶し、選択された前記送信先メールアドレスを送信先とし、自身の電話番号及びメールアドレスの少なくとも一方を含むメッセージを作成し、前記メッセージを送信先メールアドレスに対応する移動電話端末に送信するようにしたものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

このような構成により、電話帳データのコピーを行う際に同時に電話番号及びメールアドレスの通知を行うことが可能となる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】